

****+++++---* +-****+++++---* +-****+++++---* +-****+++++---*

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年10月4日（木）

NO. 898号

本号3頁

沖縄知事選挙で翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古米軍新基地建設阻止を掲げる「オール沖縄」の玉城デニー候補が過去最多得票、8万票の大差で圧勝しました。憲法会議は2日、声明をだしました。

<憲法会議声明>

沖縄知事選、玉城氏と沖縄県民が圧勝、安倍政権に痛打！ この勝利を力に、3000万人署名を達成し、安倍9条改憲を阻止しよう！

沖縄知事選挙で翁長雄志知事の遺志を継ぎ、名護市辺野古の米軍新基地建設阻止を掲げる「オール沖縄」の玉城デニー候補が過去最多得票、8万票の大差で圧勝しました。これは、翁長知事の命を削った建設阻止のたたかひの遺志を継ぎ、辺野古新基地建設反対、誇りある豊かな沖縄を実現するために、保革を越えオール沖縄でたたかった沖縄県民の歴史的な大勝利です。そして、全国各地で沖縄県民と連帯してたたかって来た全国の市民の勝利です。この連帯には「政治を変えよう」という総がかり行動や3000万人署名の経験が生きています。

この度の知事選挙は、米軍新基地推進の首相官邸丸抱えの権力総動員の佐喜真候補と軍新基地建設阻止を掲げる「オール沖縄」の新基地建設反対の県民代表の玉城氏の対決でした。官房長官が3度も沖縄入りし、名護市長選挙、新潟県知事選挙と同様に、「争点隠し」に徹した企業・団体への締め付けで、期日前投票をも強要したのをはじめ、あらゆる手立てを弄する地方選挙で例を見ない異様な選挙でした。そして、前回自主投票だった公明党や日本維新の会も組み込みました。沖縄県民はこうした県民愚弄のやり方を堂々と跳ね返しました。日米安保体制の狭間で苦難を強いられてきた沖縄県民の明確な回答です。

安倍首相は、自民党総裁選で3選されたものの、党员票で55%しか獲得できず、手にした新たな3年間は波乱含みのスタートとなりました。しかし、当選後「総裁選の結果、力強い支持を得ることができた」「党として改正案の国会提出に向け、対応を加速させる」と発言し、まるで国民の支持を得たかの如く、改憲に突き進もうとしています。沖縄知事選での勝利は、名護市辺野古の米軍新基地建設を阻止する大きな力となるとともに、安倍9条改憲など「戦争する国」づくりに突き進む安倍政権への痛打となるものです。沖縄知事選に示された平和を求める市民の力をさらに大きく広げることにより、安倍9条改憲阻止が現実のものとなります。臨時国会への憲法改正案の提案、国会発議を阻止し、改憲を断念させるために、今回の勝利を力に一層奮闘しようではありませんか。同時に、来年の参議院選挙では、今回の選挙で力を発揮した市民と野党の共闘、野党の共闘の経験を生かし、何としても安倍政権とその補完勢力を少数に追い込み、安倍政権の打倒、改憲断念を果たそうではありませんか。

憲法会議は、安倍9条改憲阻止、安倍政権打倒、そして朝鮮半島の非核化・北東アジアの平和構築実現に向け、3000万人署名の早期達成を改めて呼びかけます。

2018年10月2日

憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

玉城氏、さっそく政府に米政府との交渉を求める考え示す！

当選した玉城デニー氏は1日、名護市辺野古への県内移設計画を巡り、「米海兵隊の訓練を海外に移転できれば、普天間飛行場や辺野古移設は不要になる」と述べ、在沖米海兵隊の運用のあり方について米政府と交渉するよう日本政府に求める考えを明らかにしました。

玉城氏は、「米海兵隊の陸上部隊や航空部隊が国外に移転しても抑止力に穴は開かない」と主張。日本政府に対し、在沖米海兵隊の訓練をグアムやオーストラリアなど海外に完全に移転するよう米政府と交渉することを求めていく考えを示しました。

また、県による辺野古沿岸部の埋め立て承認の撤回に対し、政府は法的な対抗措置を取る構えをみせていますが、玉城氏は『「移設ありき」で司法に持ち込むのではなく、問題解決のために対話をすべきだ』として県側との協議の場を求める考えも明らかにしました。

一方、菅義偉官房長官は1日の記者会見で「早期に辺野古移設と普天間飛行場の返還を実現したいという考えに変わりはない」と述べ、移設を計画通りに進める考えを改めて示しています。

9条改憲シフト 安倍首相が内閣改造・党役員人事

安倍首相は2日、党役員人事とあわせ内閣改造を行い、第4次安倍改造内閣を発足させました。内閣改造では、公文書改ざん・隠ぺいなどの責任を不問にしたまま麻生太郎副総理兼財務相、菅義偉官房長官を留任させました。報道されていますが、多くの国民が麻生・菅留任に怒っています。

そして、安倍首相は、河野太郎外相、世耕弘成経済産業相、茂木敏充経済再生担当相などの主要閣僚も続投させ、外交・経済分野での対米従属姿勢を継続。公明党の石井啓一国土交通相の留任も決めました。その一方で、他の閣僚人事では、文部科学相に柴山昌彦氏、防衛相に岩屋毅氏が充てられるなど初入閣は12人にのぼり、安倍内閣で最多となりました。安倍首相は「華やかな表舞台の裏で地道に能力の研鑽に努めてきた皆さんにできるだけ多くのチャンスを作っていくべきだと考えた」「それぞれのポジションで腕を磨いてきた実務型の人間を結集した」と「全員野球内閣」と名付けました。しかし、実情は総裁選で首相を支援した論功行賞で派閥の入閣待機組を処遇したに過ぎません。自民党の若手議員が「在庫一掃のように派閥の推薦通りの人事。派閥にここまで配慮することは首相の力が落ちている証拠だ」と語ったとのこと、まさにその通りのようです。



「女性活躍」とは口先だけ、「オッサン政治」の復権！

女性は、地方創生相に片山さつき氏を登用したのみとなりました。安倍政権では「女性活躍」を掲げた14年に5人を登用しましたが、1人になったのは今回が初めてです。安倍首相は口先では「女性活躍」と言いながら、本心はどうでも良いと思っているのでしょうか。安倍政権はこれまで「女性活躍」とか「国難突破」と様々な宿題を掲げて来ましたが、結局はどれも実現せず、積み残しているのが現状です。

党憲法改正推進本部長に下村博文氏を充て、改憲強行シフト

安倍首相は会見で、憲法改正について「国会の第一党である自民党がリーダーシップをとって、次の国会で改正提案を目指していくべきだ」との考えを重ねて示しました。そして、自民党役員人事では、加藤勝信前厚生労働相を総務会長にして改憲の党内調整にあたらせ、総裁選では来年夏の参院選前に憲法改定の国民投票を実施するよう首相に提言した甘利明元経済再生相を選対委員長に起用。さらに、党憲法改正推進本部長には自身に近い下村博文元文部科学相を充て改憲の推進役とするなど、露骨な改憲強行シフトです。

自民党役員人事は酷すぎます。建設会社からの金銭授受・口利き疑惑で閣僚辞任した甘利明元経済再生相を選対委員長、自衛隊「日報」隠ぺいで同じく辞任した稲田朋美元防衛相を筆頭副幹事長に起用するなど安倍首相に近い改憲派議員をズラリと配置。国民の批判を無視しながら、9条改憲に向けた執念を示しました。



そして、さらに驚くことに、国土交通大臣の公明党の石井啓一氏以外、自民党の閣僚全員が神道政治連盟、うち15人が改憲右翼団体「日本会議」の議連に入っている改憲タカ派内閣です。

野党、「在庫一掃、閉店セール内閣」と批判

これに対して、野党は「在庫一掃、閉店セール内閣」「政治が責任を取っていない」等と批判を強めています。とりわけ、決裁文書改ざん問題が発覚しながら留任した麻生財務相について、立憲民主党の福山幹事長は「責任を取るべき人が全く責任をとっていない。臨時国会でこれまでの問題点を追及していきたい」と語り、国民民主党の玉木代表は「あれだけ大事件になり、役所の幹部の多くは辞任し、自ら命を絶つ職員が出たのに政治が一切責任を取らないという一つの宣言だ」と批判しました。

また、共産党の小池書記局長は閣僚の顔ぶれを見て、「見飽きた顔と見慣れない顔を集めたインパクトのない布陣。閉店セール内閣で政権の終わりの始まりを示している」と論評しました。

さらに、安倍首相が改憲に向けて、党の総務会長や憲法改正推進本部長に側近議員を据えたことについて、社民党の又市党首は「憲法改正案の早期提出をにらんだ改憲シフト」と語り、福山氏は「安倍総理のお友達で憲法改正を本気でやるのは、逆に国民の不信感が高まるのではないかと述べ、小池氏は「国民の中で9条改憲を望む声は少数。首相が改憲を主張すればするほど反対が増えるのが現状ではないか」と語りました。

各地のとくくみ

山形 「ノーサンキュー安倍内閣」の横断幕を掲げデモ行進

「やめさせよう！安倍内閣・市民の会」は28日、「ノーサンキュー安倍内閣」の横断幕を掲げ、山形市役所前から七日町通りなどをデモ行進しました。

宣伝カーからは、「翁長雄志沖縄県知事が命がけでとりくんだ辺野古新基地建設阻止に向けて、物心両面で支援しましょう」と訴えました。

デモ行進では、「安倍内閣は信頼できない。今すぐやめさせよう！」「戦争法廃止・憲法9条を守ろう！」「沖縄米軍基地をなくせ！」「国民をだますな！」「森友・加計問題にふたをするな」などとシプレヒコールを繰り返しました。

新婦人の会

福岡 3000万人署名一番に達成

【門司支部清見班 内田敏江】 班で話し合い、「アベ政権を許さない思いを行動に」と、5人で門司港レトロ地域で3000万人署名行動をしました。マイクで呼びかけていると観光客もわざわざ引き返ってきて署名してくれるなど、22人分集まりました。班目標は一番に達成させました。これからもがんばります。

石川 大きな交差点でスタンディング

【内灘支部 戸田令子】 戦争法強行3年目の9月19日、町一番の大きな交差点で戦争法廃止のスタンディングをしました。いつもより人数が多かったのでドライバーの目に留まりやすい横断幕を持ってアピールすることができました。 <新婦人しんぶん10月4日号 ホットラインより>

東京・文京 安倍暴走政治の改憲NO！区民総決起集会

9月28日、3000万署名推進文京アクションは「安倍暴走政治の改憲NO！」文京区民総決起集会を行い、130人余が参加。元自衛隊員の井筒孝雄氏が「憲法9条改悪で変わる自衛隊」のテーマで講演。講演の中で、日米新ガイドライン・安保体制の下で自衛隊は新任務が課せられ、米軍との一体化が強められ、戦争のための合同訓練が強化されていること、沖縄への負担軽減の名のもとに米軍の手薄のところに自衛隊を配備増強していること、憲法の上に日米地位協定を置き、政府は何も言わないため、米軍のやりたい放題の属国状態に置かれてきていることを指摘し、地位協定の見直しを求めて行くことが重要だと指摘されました。



講演の後、参加者はデモ行進。街頭から「頑張って」等の声援が寄せられました。